

あなたの声を...

から

第59号

2014年8月

議会だより



◎審議内容	2
◎中学生議会	4
◎一般質問	5
◎町の元気もの	12
◎議会日誌	12



甲良町のキャラクター
ココラちゃん

写真：修復のすすむ犬上川左岸（金屋）

補正予算822万円計上!

業補助に190万円

平成26年6月定例会は、6月5日から13日までの9日間の会期で開催し、報告2件、承認9件、議案5件、
発議1件、請願1件、その他2件を審議し、請願1件以外はすべて原案どおり承認・可決・決定されました。

審議内容

承認(専決処分9件)

1. 税条例の一部改正
付則第8条第1項中
「平成27年度」を「平成
30年度」に改める。この
条例は平成26年度4月1
日から施行。

賛成全員

反対 (丸山光、西澤)

3. 平成25年度一般会計
補正予算(第7号)
歳入歳出予算の総額に
それぞれ6,843万円
を減額。

賛成全員

6. 平成25年度墓地公園
事業特別会計補正予算
(第3号)
歳入歳出予算の総額に
それぞれ30万円を増
額。

賛成全員

9. 平成25年度せせらぎ
の里こうら運営事業特別
会計補正予算(第3号)
歳入歳出予算の総額に
それぞれ398万円を減
額。

賛成全員

議案(5件)

2. 国民健康保険税条例
の一部改正
第2条第3項ただし書
中「140,000円」
を「160,000円」
に改め、同条第4項た
だし書中「120,000
円」を「140,000
円」に改める。この条
例は平成26年度4月1
日から施行。

4. 平成25年度後期高齢
者医療事業特別会計補正
予算(第4号)
歳入歳出予算の総額に
それぞれ130万円を増
額。

賛成全員

7. 平成25年度住宅新築
資金等貸付事業特別会計
補正予算(第3号)
歳入歳出予算の総額に
それぞれ4万円を減額。

賛成全員

1. 税条例の一部を改正
第34条の4中「100
分の14.0」を「100
分の11.4」に改める。
この条例は公布の日から
施行する。

賛成 (山田、阪東、野瀬、
西川、濱野、木村、
藤堂、丸山恵)

5. 平成25年度介護保険
特別会計補正予算(第3
号)
歳入歳出予算の総額に
それぞれ406万円を増
額。

賛成全員

8. 平成25年度下水道事
業特別会計補正予算(第
4号)
歳入歳出予算の総額に
それぞれ792万円を減
額。

賛成全員

賛成 (山田、阪東、野瀬、
西川、濱野、木村、
藤堂、丸山恵)

2. 国民健康保険税条例
の一部改正
付則第3項の見出し中

4. 老人福祉医療費助成
条例の一部改正
第2条第1号中と第3
条第1項中を改める。こ
の条例は平成26年8月
1日から施行。

賛成全員

3. 福祉医療費助成条例
の一部改正
第2条第6号中「65
歳に達する日」の右に「
の翌日」を加える。この
条例は平成26年8月1日
から施行。

賛成全員

平成26年度 一般会計

コミュニティ助成事

5. 平成26年度一般会計
補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に
それぞれ822万円を増
額。

賛成全員

発議(1件)

1. 農業委員会委員の推
薦

古川 俊雄氏

(尼子出屋敷)

金田 勝幸氏(呉竹)

宮川 徳満氏(長寺西)

桂田 誠一氏(法養寺)

賛成全員

請願(1件)

1. 集团的自衛権の行使
容認へ憲法解釈を変更し
ないことを求める請願書
政府が立憲主義に立ち
返り、集团的自衛権の行
使を容認する解釈改憲は
行わないことを求める。

賛成 (丸山光、西澤)

反対

(山田、阪東、野瀬、
西川、濱野、木村、
藤堂、丸山恵)

報告(2件)

1. 平成25年度繰越明
許費繰越計算書(一般会
計)

平成25年度から26年度
に繰り越した主な事業

①道路修繕計画策定委託

②子育て支援システム委
託

③町道金屋池寺長寺線改
良

④改良住宅屋根修繕工事

⑤電気自動車急速充電器
設置

繰越額7,624万円

2. 平成25年度滋賀県市
町土地開発公社の事業報
告および財務諸表の報告

事業収支は224万円
の純損失。

平成26年度 6月補正予算の概要

◎ 一般会計(第1号補正)

補正額822万円の増額 補正後の予算額 34億8,222万円

	項 目	補 正 額	事 由
歳入の部	国庫支出金	133万円	がんばる地域交付金
	繰越金	474万円	前年度繰越金
	諸収入	215万円	コミュニティ事業助成金・農地中間管理事業業務委託金
	合 計	822万円	
歳出の部	総務管理費	268万円	コミュニティ助成事業補助金・電算システム保守委託他
	社会福祉費	554万円	福祉医療システム変更業務委託他
	農業費	0円	一般財源を国庫支出金に組替
	合 計	822万円	

中学生議員 11 人が 身近な問題について一般質問

第9回 中学生議会

行政相手に堂々と質問



7月3日、中学生議会が開催されました。選出された中学1年生議員12人に上田選管委員長から当選証書が付与され、また、建部議長からは「せっかく作った質問で行政の答弁が、もしも納得できなかったりもう少し聞いて見たいと思ったならば、再質問、再々質問ができる」などと激励を受けました。

7月3日、中学生議会が開催されました。選出された中学1年生議員12人に上田選管委員長から当選証書が付与され、また、建部議長からは「せっかく作った質問で行政の答弁が、もしも納得できなかったりもう少し聞いて見たいと思ったならば、再質問、再々質問ができる」などと激励を受けました。

議長は西山桐毅君が務め、11人の一般質問を采配。質問の主な内容は次のとおりです。

◆(森田 元議員)

◆図書館利用時間を土曜・日曜も、現行17時間館を18時まで延長出来ないか。新刊の量と選定基準は。

◆(西澤 恒樹議員)

◆広報こうらに小中学生向け情報・記事を増やしてほしい。学校でのいじめをなくす対策を強化してほしい。

◆(五十嵐 聖議員)

◆中学校前の横断歩道に



押しボタン式の信号機を設置して。通学路だけでも街灯を増やしてほしい。

◆(西村 圭太議員)

◆上水道の水はどこから取水しているのか。下水道処理施設はどこにあるのか。水道・下水道料金はどうのようにして算定しているのか。

◆(松宮 波弥汰議員)

◆消費税の増税分の使い道と住民へのメリットは。住民税の使い道は。

◆(丸山 天虎議員)

◆ごみ回収の現状と分別はきちんとされているか。ゴミの回収日を増やしてほしい。

◆(古川 隼議員)

◆高齢者福祉の今後の見通し、取り組みは。高齢者が受けられる支援内容は。

◆(山本 仁太議員)

◆人権問題に対する具体策は。地域総合センターの取り組みは。

◆(辻 乃綾議員)

◆甲良町にも道の駅ができたが、観光振興で一番力を入れていっているものは。道の駅にガソリンスタンドの設置を。ポイ捨てをなくすため公園にゴミ箱の設置を。

◆(宮崎 慧斗議員)

◆中学校に売店を。中学校のトイレをきれいにし

◆(津川 仁哉議員)

◆インフルエンザの重症化を防ぐためにも予防接種に助成を。

これらの質問に、それぞれの課長補佐らが本番議会にも勝るていねいな答弁を行いました。回答内容に不十分なところがあれば踏み込んだ追求が欲しいところもありました。

堀内教育長が閉会あいさつし、「今回経験したことを糧にして中学校生活に活かしてほしい」などと激励。また、1時間あまり落ち着いて傍聴できた中学生・保護者ならびに答弁に立った町長はじめ幹部職員への感謝を述べ閉会しました。



一般質問

要旨

阪東 佐智男 議員



防災センター 建設に問う

Q 町の安全安心の拠点づくりとして今年は防災センターの設計費を2,600万円計上されているが、入札方法は。

A 総務課長
本年度の予算は実施設計までであり、入札の方法は一般的な指名競争入札で行う。

えており、国の補助金はどのくらい交付されるのか。

A 総務課長
少し幅が広いが、建設費として6億から9億くらいを思っており70%を交付税として算入することを考えている。

地籍調査の 進捗に問う

Q 滋賀県の地籍調査進捗率が13%と全国的にみて非常に低いとの報道があり、震災復興時には極めて重要な内容でもあり本町調査の進捗率はどの程度か。

A 建設水道課長
本町の調査対象面積は13.44km²あり平成24年度末で77km²の完了で進捗率は57.3%で県下では1位の進捗率である。

基幹排水路掃除に問う

Q 地域住民により毎年3月頃に用排水路の清掃活動を実施しているが、近年農業離れで、背丈ほどの基幹排水路の清掃ができていないのが実情であり関係団体との連携を行い5年に1回程度の清掃が必要と思うが。

A 産業課長
基幹排水路の管理は犬上川沿岸土地改良区の管理になっており実態を尋ねると、排水路の管理は受益者でお願いしているが、アーム幅3m高さ90cmで土地改良が指定している排水路は応分の負担をするとのことであった。



農業基幹排水路

町として排水路の実態把握は管理者と調査に努めたいと考えている。

通学路グリーンゾーン標示に問う

Q 亀岡市で発生した通学路の事故以来各地でさまざまな安全対策が実施されている。しかしながら道路の地形上どうしても対策が実施できないのも現実である。本町も一部の通学路については道幅も狭く安全であると言えないが、近隣の市町では既にグリーンゾーンの設置が進められている。グリーンゾーンの標示は通学路であることを運



豊郷町の例

転者に知らせる標識の役目と子どもたちへの歩道帯の目安となり安全指導の観点から必要と考える

A 町長
が。

この件について、私も前々から考えており通学路の安全部分が少ないことを痛感している。

東西学区の対象となる道路の全長を調べて予算化に取組む。

【その他の質問】

- ◆情報管理について
- ◆定住人口について

一般質問 要旨

山田 裕康 議員



給食センターの今後は

Q 本町の農産物の振興のため、地産地消を推進するうえで、せせらぎの里の生産組合が納入業者として参加することができるか。

A 教育次長
生産量の確保が十分できていないので今のところは難しい。

Q 地元の野菜等利用については給食センターの地産地消部会で協議が始まったところである。甲良の野菜等も大いに参入可能かと考えている。

A 教育次長
今後新しくなれば給食費が上がるといふ噂を聞いたがどうなるのか。他の市町と同一金額になるのか尋ねる。

Q P T Aの人たちは値上げは望んでいない。保護者の意見をしっかりと聞いて値上げが無いよう要望する。

A 総務課長
現在の給食センターの跡利用はどのように考えているのか。

高校受験対策は

Q 現在、長寺センターなどで行われている中3学習塾において中3生だけの学習で高校受験対策はできるのか。

A 人権課長
昨年全員が志望校に合格できている。それなり成果が出ており、今後も学習会等を行っていく予定である。

医療費無料化はいつからか

Q 中学校までの医療費無料化はいつ頃行うのか。

A 住民課長
10月実施に向けて進めている。

Q 近隣の町は18才まで無料化を進めているがその点についてはどうか。

A 住民課長
本町は財政事情も厳しく、小中学生の入院についての無料化を平成23年10月に実施した。

本年10月から通院も含め無料化の実施を考えておりご理解願いたい。

A 教育次長
給食センターに納入しているのは、法養寺のサンファームが70% J Aが30%で、今後彦根の新しい給食センターに参入するには、まずは登録をすることになる。

Q 給食において米を使うと思うが年間の使用量や品種など滋賀県の推奨米みずかがみの扱いはどうするのか。また、甲良産の野菜、果物等地産地消の観点からどのような割合で使われているのか。

A 教育次長
現在、彦根市の小学校は4,100円、稲枝中学校は4,400円であるが、本町の小学校は3,600円、中学校は4,000円であり少し厳しい状況である。給食費については、今後協議していく。

金額は彦根市、豊郷町、甲良町は同じ給食センターで作るので当然同じ金額になる。



給食センター

A 人権課長
現在両センターで教職員を配置し、随時学習を含め生徒の相談にのっている。



長寺地域総合センター

一般質問

要旨

野瀬 欣廣 議員



ふるさと納税制度を問う

Q ふるさと納税について注目を集めているが、現在の本町のふるさと納税の寄付状況はどのようなになっているか。

A 企画監理課長

21年度に2件、50万円ずつの寄付があり、その後の寄付についてはない。

基金の運営については、教育、文化の推進に関する事業に50万円。保健、医療、介護、福祉の向上に関する事業として50万円の基金として定期預金にしてある。

Q 町のホームページからふるさと納税のページが探しにくい。アピールが不足しているのでは。

A 企画監理課長

指摘のとおりであり、改善をしていきたい。

Q 多賀町では、ふるさと納税の特典として、1万円以上の寄付で15kgのキヌヒカリを贈っている。地域の農産物を知ってもらいよい戦略だと思うが、本町としてどう考えているか。

A 企画監理課長

前向きに検討していきたい。

Q 農産物／特産物を特典として考える場合、J Aとか甲良集落営農連合協同組合とも連携が必要になるが、どう考えているか。

A 企画監理課長

魅力ある商品を検討していきたいと思っ段階なので、今後、検討していく。

人口問題について問う

Q 5月14日付の中日新聞に、「3町消滅か、人口減に苦慮」との見出しで衝撃的な記事が掲載された。この現実を立脚点として政治、行政、住民が一体となつて議論し、知恵を絞るという必要がある。

A 企画監理課長

本町として、この人口問題に対しての見解は。役場の職員で、チームをつくり、共通の危機感を持つて、どういう施策をしたら人口減を食い止められるのかという議論を始めるため、6月2日に検討チームを立ち上げた。

いる本町の問題が大きいように思われる。

Q 働く場所の確保、そして、出生率の向上、結婚、出産、育児、これらを前向きに検討することにより若年層が定着する手を打つ必要がある。

Q 今後このように人口が減少することが予測されている中で、町単独で防災センターの設立を検討しているのか。

またどのような機能を持った防災センターになるのか。

A 総務課長

具体的にはまだ煮詰まっていないが、年内にはある程度方向性を出していく。

Q 高齢者のみの世帯、独居の世帯、また寝たきりで動けない世帯、こういった世帯に対する避難・救助について町として公助の体制は整えられているか。

A 保健福祉課長

甲良町避難行動要支援者要支援計画に基づいて避難プランを作成している。

※ 自主的な計画に基づいて、そこに登録するというのが、現実ではないように思われる。一歩踏み込んで町／区から該当者に登録を勧める対応をしていただきたい。

※ 新聞に同時に掲載された他町については、現在すでにいろいろな施策を実施している。残念ながら県内で最も若年女性の減少率が高いとされて



一般質問 要旨

西川 誠一 議員



庁舎の補修を

Q 耐震診断実施の時期と結果はどうか。

A 総務課長

平成17年に実施済で不特定多数が集まる施設の構造耐震判定指数が0.7で耐震基準は満たしている。

Q 2階外壁底部の剥離があるが落下の危険性と美観上も問題がある。外壁部の亀裂も見受けられるが補修等の対策が必要では。

A 総務課長

ソーラーも含め総合的に検討する。

A 総務課長

外壁の剥離は町長からも指摘を受けている。亀裂については雨漏りするのは承知している。施設延命化について財政面も含めて検討していく。

Q 昨年度ボイラーが故障したが冬季の暖房設備費用が予算計上されていないが、どのような計画をしているのか。

A 総務課長

ボイラーの新設はしない。ガス・電気暖房を検討したが多額の費用がかかるので今冬も不便ですが石油ストーブやガスストーブで乗り切る。

A 総務課長

ソーラーも含め総合的に検討する。

Q 屋上にソーラー導入すれば自家発電し、電力料金の節約になるがどうか。

A 総務課長

人口の減少、税収の伸びも期待できない中で庁舎の延命策について町長の見解は。

A 町長

当初、3階建の予定を2階建にした為、かなり頑丈な構造になっていると聞いているが、経年劣化による剥離剥落やクラックなど補修補強を順次進め延命化に取り組む。

A 町長

当初、3階建の予定を2階建にした為、かなり頑丈な構造になっていると聞いているが、経年劣化による剥離剥落やクラックなど補修補強を順次進め延命化に取り組む。

Q わが町からも選手を輩出して欲しいが、町と

A 社会教育課長

人口減少の対策は

Q 日本創成会議が発表した女性の減少率では本町が住みにくい町の太鼓判を押された気がするが行政としての対策はどうか。

A 企画監理課長

具体的中身は検討委員会を立ち上げてその中で協議して決めていきたい。

道路の拡幅を

Q 出町～野口間の道路拡幅の進捗状況はどうか。

A 建設水道課長

湖東土木事務所より出町工区は今年度復元測量を実施予定と聞く。着工は遅くとも28年度にはとの話もある。野口工区は民間開発が絡んでおり、その動向次第と聞いている。

Q 池寺下之郷安食線の県道昇格の状況はどうか。

A 建設水道課長

湖東土木事務所より出町工区は今年度復元測量を実施予定と聞く。着工は遅くとも28年度にはとの話もある。野口工区は民間開発が絡んでおり、その動向次第と聞いている。

Q 池寺下之郷安食線の県道昇格の状況はどうか。

A 建設水道課長

湖東土木事務所より出町工区は今年度復元測量を実施予定と聞く。着工は遅くとも28年度にはとの話もある。野口工区は民間開発が絡んでおり、その動向次第と聞いている。

健診の受診率は

Q 特定健診の受診率はどうか。未受診者にはどのように対応しているか。

A 住民課長

25年度は56%で県下1位である。県下市町平均は36%。未受診者には1回目終了後、8月に再度通知を出している。

Q 乳がん・子宮頸がんの検診の受診率はどうか。

A 保健福祉課長

24年度乳がん検診の受診率は25%、子宮頸がん検診の受診率は28%である。

一般質問 要旨

丸山 光雄 議員



凸凹の町道を 舗装して

Q 尼子地先の近江鉄道沿い西側の町道を舗装してほしいと町民から要望が出されていると聞くが、

今現在、どのような計画で、いつごろから、どのような予定で工事が始まるのか。

A 建設水道課長

要望はいただいております、今年度は、予算化できていない。来年度に向けて実現するように検討していきたい。

Q 工事はいつごろからか。

この道路は、今までは自動車あまり通らない道だと思うが、尼子下出屋敷の字内を通らないでほしいとなったことから、古河ASの社員らが通勤用の道に利用していると聞く。以前より凸凹が大きくなったという。農家の方から苦情が出ているの

で、どう対応するか。

A 建設水道課長

話は、地元区長さんから聞いているので、実現できるように前向きな検討をしたい。

※町民の喜ぶこういうことを全面的にしていたら、甲良町の人口も減らないように、こういう面で頑張っていたらいいと思う。



舗装が待たれる尼子地先の町道

「全体の奉仕者」 としての 心得を

Q 町職員が、全体の奉仕者として職務を執行することについて尋ねる。

町役場全体の印象を左右する職員の挨拶を爽やかに行うことが必要ではないかと思うが、現状はどうか。

A 総務課長

挨拶に限らず、職員には課長会等で話をしてい

Q 爽やかな挨拶のできるような教育とか研修などはしているか。

A 総務課長

あえて研修まではやっていないが、機会あるたびに話をしている。

Q 税金の取り立てをめぐって、弱い町民の立場に寄り添って、丁寧な対応をしているか。

A 税務課長

税金とは他の電気代、

ガス代とは違って、自主納付が原則になっており、納期限内に納めることが基本。納期限後に未納の方にはその翌月に督促状、電話での催告、次にもう一度、催告文書を送る。いきなり差し押さえすることはない。

来庁される方もあり、一括納付が無理な場合は分納誓約に基づいた収納をお願いしている。納期限が過ぎて滞納処分ではなく、何段階かの周知をした上で、やむを得ず実行している。

A 町長

大変貧困状態が甲良町にはある。その上、年金の引き下げや消費税の増税など、生活の苦しさが増すまま大々となるばかり。そんな町民の暮らしに思いを寄せた町政の運営と町職員一人一人の心がけが大事なのでは。

コンプライアンスの行動指針に基づくこと、常に役場の職員は「全体の奉仕者」を徹底して指導している。特に、新しく毎年入る職員には、市町村の職員研修センターに行き、地方公務員の規則を遵守すること、守秘義務などを徹底している。したがって、住民の皆さんに対応するにあたって、懇切丁寧に対応することを基本原則として取り組んでおり、今後もこの方針で、この精神で取り組みの徹底した指導をさせていただきます、頑張りたい。

一般質問 要旨

西澤 伸明 議員



人口減のもと克服し住んでみたくなる町へ

Q 地方の人口減少の背

景には、極端な効率第一主義を追究する構造改革、新自由主義路線があると考ええる。郵政民営化の名で、ユニバーサルネットワークの責任を国が放棄したことに象徴されるように、効率が悪くもうからない分野を切り捨てる政策が進められてきた結果だ。ガソリンスタンドの撤退、小規模商店の廃業、公共サービスも人口の少ない地方はおざなりになるなど、ライフサポートの弱体化が進んだ。

克服しようとする取り組みも広がっている。ラジ

オで、島根県海士町のUターン、イタリーの状況を聞いた。東京で勤めていた女性が、海士町に転居し、転居者が数百人に増えた様子を、実に生き生きと伝えていた。どんな取り組みか、なぜそうなったのか学んでみたいと思った。

それで、人口減の主たる要因をどのように分析しているのか。

A 企画監理課長

人口減は、全国的に自然減の要因もあり、一極集中とか二極集中で、若者が都会に仕事を求めて出ていく現象も起こっている。本町においても例外ではない。特に、児童生徒の数が、急激に減っているのを案じている。また、家を建てる場所なども厳しく、それらのことが絡んで人口が減って

いるのかなと考えている。

Q 要因の中には、さま

ざまあると思う。工夫ある取り組みによって、国の施策と経済活動を乗り越え、克服する取り組みもされているところがあ

る。方向をぜひ見いだしていく必要がある。

人口減少の地域は、総じて中山間地に集中しているが、そうとも言えない実態があるようだ。住民と町外転出者の意向調査をお願いしてはどうか。

A 企画監理課長

内部のプロジェクトチームをつくり、人口減少問題の危機意識を内部で共通認識とし、人口減に歯どめをかける施策を町全体、役場全体で考えていかなければと思っている。

対策としては、工場誘致、住宅用地の確保、土地利用計画の変更、子育

て支援、若者定住、移住対策など、また、生活改善的な要素も考えられ、意向調査などをチームで検討したい。

※ アンケートをとる上で、当たりさわりのない回答とならないことを心がけていく必要がある。わが町の場合、交通が極端に不便なわけでない。まずは客観的、科学的な原因を的確につかむことから正確な処方箋、対策を打ち出すことができる。

【その他の質問】

◆若者定住策の充実

・若年世代の固定資産税の軽減

・保育料の軽減

・医療費無料化の拡充

◆若者定住施策を立案する上で、基本の柱となる6点を提起し、財政力にも寄与し、甲良町のイメージアップにつながる中心柱を打ち出すべきではと質問。

◆地域おこし協力隊の位置づけは。

◆住民が対等、平等で本音で語り合える場、環境をつくるべきでは。

◆防災センター建設は十分な住民合意が必要では。

◆同和対策事業の造成地の一画が沈下しており、誠意ある対応を。



一般質問

要旨

金澤 博 議員



町長選挙での 教育長の 応援演説を問う

教育長の罷免決議

Q 今回の町長選挙で北川町長の個人演説会に計6回出向き公然と応援弁士をした。地位の利用に触れる行為がされ12月議会に教育長の罷免決議がされたが何ら処分がされず現在に至っている。どの様に受け止めているか。

A 教育長

罷免される立場の決議であるから答えられない。

教育長のとった行動

Q 自分から申し出て応援弁士をしたと発言されているが町長に申し入れをしたのかそれとも選対本部に申し入れたのか。

A 教育長
町長に申し入れしただけである。

Q 選挙に勝つためには教育長の立場も利用する。教育長は自ら演説に行っただのか。選対がストップ

をかけたら止めたのか、止めなかったのか。

A 教育長

選挙管理委員長から電話があったので行けなかった。応援に行けなかったのは本意である。

保護者、教育行政に対する説明責任は

Q 教育長は地位の利用とわかっていながら確信的にやっている。今後職員がそういう行動を取ったら教育長は自己反省もなくて職員を処罰できるのか。

A 教育長
万が一そういう事があれば処分を受ける事になるので指導していく。

Q 保護者からも苦情や心配の手紙が届いている。教育長も新聞に載り辞める事になるのかと

思った。呼んでいい人悪い人の分別もつかないなんて町長も何を考えているのか。甲良町が事あるごとに悪いイメージなのはそんな所からも現われている。

る。事の重大さを考え保護者に謝罪する気はあるのか。

A 教育長

自分で判断する。

行政責任

Q 町長にとって教育長の応援は援護射撃で嬉しかったかもしれない。身内びいきと取れるが町長として処分はしないのか。

A 町長
任命権者は教育委員長であるので私からは出来ない。

官製談合疑惑 不起訴に対する 町長の見解は

町民に対する説明責任は

Q 調査委員会の報告を受けて町長が告発したが2回とも不起訴になった。以前このまま信用して告発したら憶測だけでは町長は名誉棄損で訴えられるから十分に考えてから行動を取るよう進言しておいた。百条委員会の

でたためな報告書。町長

は前の議会に同調して信

憑性の無い報告書に基づき告発をした。町民へ司法の結果を待つて説明すると新聞で言っていないが

A 町長

不起訴処分の結果が出た時点ですべてが終わった。私の役目は終わったと認識している。

Q 公費を使って告発し弁護士を呼び町長も出席の元説明会を開き甲良民

報や色々なキャンペーンをはったが結果不起訴となった。その後なぜ議会も行政も見解を出さないのか。多くの町民の意見であるが見解を問う。

A 町長
これ以上申さない。

町長選挙前のビラについて

Q 木村、藤堂議員が町長選挙2日前に意図的に配布したビラ（官製談合が本当はあったかの様な相手を誹謗中傷する内容）両議員は現在すでに

告発されている。町長の選挙が有利になるよう出したビラであり行政や議会が終結宣言を出していないから町長選の戦略となつたと思うがどうか。

A 町長

ビラが意図的に出されたものかは私にはわからない。私が発言する事ではない。

関係者に対する謝罪と町長の責任は

Q 疑惑を与えられた本人家族はどれ程辛い思いをしたか謝罪するのが当たり前。常識である。町長の意に沿わない結果が出たからしないのか。それとも悪いと思っていないのか。

A 町長
議会の議決でした。私には責任はない。

※ 行政が告発して不起訴になった事は全国でも例が無い。それ程不透明な告発であった。しっかりと関係者は責任をとるべきだ。

こんにちは!!

「甲良柔道スポーツ少年団」です。



『指導理念は、柔道を通して友情・団結・勇気・忍耐・規律・礼儀を身に付け、感謝の気持ちを持てる子どもたちの育成を目指しています。』と語る代表の杉本新吾さん。

6月に開催された全国小学生学年別柔道大会滋賀県予選で西小5年の小川真綾さんが、見事優勝し、全国大会出場を決めました。

『全国大会の目標は、ささえつりこみ・大内がり・大外がり・はらいごし・うちまた・体落しで一本とれるまで、もうとつくんして全国制覇したいです。』ま



練習：月・木曜日 19 時～ 甲良中体育館

た、将来の夢は、『女子柔道選手の山部さんみたいな、きれいなうちまたすかしを完ぺきに、東京オリンピックにでて、親孝行したいです。』
そして、甲良柔道スポーツ少年団の先生になって、先生たちの右うでになり、柔道を続けていきたいです。』と語る小川さん。
8月17日、岩手県で開催される全国大会、優勝目指して頑張ってください。応援しています！

議会日誌

5月

- 11日 法養寺お田植祭
- 13日 県町村議会議長会新入議員研修会
- 20日 県監査委員協議会総会
- 23日 例月出納検査・定期監査
- 25日 正楽寺バサラ道場まつり
- 26～28日 全国町村議会議長研修会
- 28日 町営林視察
- 30日 議会運営委員会
彦根愛知犬上広域行政組合臨時会

6月

- 4日 全員協議会
- 5日 6月定例会(一般質問)開会
- 6日 6月定例会(一般質問)
- 10日 盗水疑惑特別委員会
- 13日 6月定例会 閉会
広報特別委員会

24日 例月出納検査・定期監査

30日 彦根市・犬上郡営林組合臨時会

7月

- 3日 第9回中学生議会
- 7日 国道307号改良促進協議会総会
- 8日 広報特別委員会
- 9日 総務民生常任委員会
- 10～11日 全国町村議会広報研修会
- 14日 彦根愛知犬上議長会総会
- 15日 国道8号バイパス建設促進期成同盟会総会
広報特別委員会
- 19～21日 高虎サミットin今治
- 22日 例月出納検査
広報特別委員会
- 24～25日 決算審査
- 26日 町夏まつり
- 31日 部落解放・人権確立要求彦根・犬上地区
実行委員会

たばこ

愛煙家のみなさま、あちこちで禁煙禁煙と叫ばれ住みにくい世の中になりましたね。お店でも職場でも喫煙できない場所が増えています。

たばこは健康に悪いとわかっていて禁煙したいと思っても、禁煙を実行できなかったり、長続きできないため、「私はみんなと違ってたくさん税金を払っている」とうそびえているあなた！本当にそれでいいのですか？

たばこを吸っている部屋の天井を一度水拭きしてみてください。べつと黒ずんだ汚れに驚くと思います。これがあなたの肺の中の状態です。喫煙により循環器系・呼吸器系・消化器系・神経系など多くの病気を誘発します。さらに体内の組織を傷つけがんになる確率も大きくなってきます。また副流煙により特に妊婦や小児にも悪影響があるようです。

さて、いままで喫煙は単なる習慣なので、本人の強い意志さえあれば禁煙できると思われるかもしれませんが、最近では、喫煙はニコチン依存症という薬物依存症の一種と考え、病院でも禁煙治療が行われています。

さあ喫煙者のみなさん、タバコとライターを捨てて、健康な身体を取り戻しましょう！

野瀬 欣廣